

# 第 216 回競技委員会議事録

1. 日 時：2012年3月7日（水）18時00分～21時00分

2. 会 場：連盟本部事務局

3. 出席委員：

競技委員会：委員総数 13、定足数 9、出席 13（内委任状 3）で成立。  
清水康裕委員長、寺本直志、古田一雄、斉藤千鶴乃、正村祐一、  
山後秀幸、西田奈津子、山菅昭夫、田中陵華、仲村篤志  
以下委任状：平田眞、林伸之、佐々部君敏  
オブザーバー：大政哲人、鈴木正人

4. 議事の経過及び結果：清水康裕委員長を議長に議事を逐一審議した。

第 1 号議案 ハンドブックの見直しに関して

- (1) 過去の議事録を反映した、コンベンションリスト、コンベンション規定、アラート規定が事務局から事前資料として提出された。
- (2) コンベンション規定 PODI の記述に関して、寺本・山後委員から提出された文書が承認された。
- (3) コンベンションリスト B、補足のバランシングコールの記述は削除することで合意した。
- (4) アラート規定、アラートチャートにリードおよびシグナルはアラートがいないことを明記することで合意した。
- (5) 用語集の改訂版が事前資料として提出された、修正案がある場合は原稿訂正期限まで清水委員長と事務局で対応することとした。

第 2 号議案 ルーザーの定義に関して

- (1) 清水案、仲村案、に続き田中案、山後案が提出された。
- (2) 強いハンドの定義を含め議論が行われた。
- (3) ルーザーに関しては海外の資料にも明確な定義はなく、具体的な数字としての定義は困難であるという認識で合意した。
- (4) コンベンションリストの強いハンドの定義をわかりやすく書き直すことで対応することとした。
- (5) 2C をアーティフィシヤルなエコール 2 のハンドとして利用する場合の記述をリスト C の 2c)に明記することとした。2D が強いハンドを示すことを利用の条件とする。

第 3 号議案 セクショナルディレクターの申請

- (1) 以下 1 名のセクショナルディレクターを承認した。  
前田良徳(C-00719) 推薦者：大石剛毅(S-00119)

第 4 号議案 クラブディレクター承認の報告

- (1) 以下 2 名のクラブディレクターの承認が事務局より報告された。  
高原エリ子(C-01003) 千葉県  
本山尚光 (C-01004) 神奈川県

第 5 号議案 IMP リーグの SP 制限に関して

- (1) SP 及び IMP リーグの SP 区分について、1月27日理事会に於いて見直しを求める複数の発言があり、清水委員長より経緯の報告があった。
- (2) 佐々部委員より、大阪での現状報告と意見書が提出された。
- (3) IMP リーグ参加制限に関しては過去に、制限は変更しない代わりに大幅なシードポイントの引き下げで対応したことが報告された。
- (4) シードポイントを増加させる方向で、計算式を見直すべきとの意見があった。
- (5) 2012 年度の競技委員会での検討課題として、IMP リーグにおけるシニア優遇 SP に関する規定が対象となっている。2012 年度に小委員会を編成し、ブリッジセンターからの意見を取り入れた形で、併せて検討することとした。

第 6 号議案 その他議案

- (1) NEC ブリッジフェスティバルの横浜スイスチーム(参加 67 チーム、7 ボード、8 ラウンド)

に於いて、ボード配置の間違いにより 1 ラウンド目の 2 つの対戦(4 チーム)で結果が出なかったことが大政 JCBL チーフトーナメントディレクターから文書報告された(担当ディレクターは中谷、小池、田代の 3 名)。競技委員会としては、会報での謝罪文掲載ほどの重大性は無いと判断した。今後はチェック人数とチェック回数を増加させるとする再発防止策を受け入れた。

- (2) WBF25VP スケール 10 ボード用、WBF の試合要項に 10 ボード用のスケールがあったことが事務局より報告され、JCBL でも使用できるよう承認した。JTOS は次回バージョンアップから対応する。

次回競技委員会は 6 月 6 日 (水) 18 時 00 分からの開催を予定する。

以 上